

固体捕集法

固体捕集法 こたいほしゅうほう

空気中に浮遊している放射性気体や微粒子等を補集する方法の一つ。普通エアサンプラといわれるものは微粒子状の放射性物質を含む空気をフィルターを通して吸引し、フィルター上に微粒子をあつめる方式の補集器である。捕集対象の核種、粒子サイズ等によって、フィルターの材質、メッシュサイズが異なる。実験目的や安全評価の上で補集効率が重要な要因となることもある。またフィルターの代わりに吸着剤の層を通して空気を吸引し、放射性物質を吸着剤の表面に吸着させる方法もある。放電によって空気中の微粒子を荷電し、電気集塵機で補集する方法も固体捕集の一方法である。

<登録年月>

1998年02月
